

# 向日町競輪場基本構想（中間案）について

令和5年9月  
京 都 府

「向日町競輪場基本構想」は、「向日町競輪事業の今後のあり方に関する基本的な考え方」（令和5年2月）を踏まえ、競輪事業の継続に必要な施設の再整備や余剰スペースの整備を実施することを目的として策定するものである。

## 1 現状・課題

- ・ 収益面、施設・設備面、サービス面、それぞれに係る現状・課題を整理。

## 2 車券売上・収支の見通し

- ・ 全国的な傾向等を分析し、今後10年間における車券売上・収支を推計。

## 3 持続可能な競輪事業に向けた取組

- ・ 経営改善、来場者確保、活性化・イメージアップ、ギャンブル依存症対策のために必要となる取組を実施。

## 4 競輪事業の継続に必要な施設の再整備

- ・ 競輪場敷地全体を、「エントランスゾーン」、「管理・運営ゾーン」、「観戦・投票ゾーン」及び「交流・賑わいゾーン」にゾーニング。老朽化が著しい施設は除却し、全面的な再整備を実施。
- ・ 車券売上・来場者数の見通しや他の競輪場の事例等を踏まえ、バンクやスタンドなど競輪事業の継続に必要な施設・機能については、集約化を行った上で、「管理・運営ゾーン」及び「観戦・投票ゾーン」に集中的に配置。

## 5 想定事業費・スケジュール（競輪事業の継続に必要な施設）

- ・ 必要な施設の規模・機能等を精査し、最終案に向けて、想定事業費を算出。整備に当たっては、施設整備基金等を活用するとともに、民間事業者の強みを活用。
- ・ 足下における収支の改善等を踏まえ、可能な限り早期の整備着手・完成を検討。

## 6 余剰スペースの活用

- ・ 「交流・賑わいゾーン」として整備を実施。
- ・ 競輪施設との相乗効果、賑わいの創出、府内のスポーツ施設の状況などを踏まえ、屋内スポーツ施設としての活用を検討。